

自己評価結果票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホームとしての理念で「地域・信頼・人づくり」を掲げて日々実現に向け努力している。 法人理念が出来た「1. 利用者の皆様が安心かつ、自立した日常生活を営む事が出来る様に援助します。2. 地域を大切に、社会に貢献できる事業所を目指します。3. 常に思いやりの心を持ち、利用者・家族・地域の人々・職員すべてが明るく幸せになる事業所を目指します。」。 | ○ | 地域の方参加型の施設行事などを通して理念の実現に努めている。近隣との保育園等の園児との交流の機会を作りたい。職員全員が理解していく為、個々だけでなくミーティング時等でも覚えていく。 |
| 2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ホームの所在地には地域の自治会組織はないが、隣の地域の自治会に入会し、運営推進会議には民生委員の協力を得るなど、地域に対して啓発・広報に積極的に取り組んでいる。本年度の夏祭り行事への地域の方々の参加が増え少しずつ前進している。 | ○ | 地域への盆踊りの参加や当施設の夏祭りへの取り組みを通し、日々の挨拶などで親交を深め施設内外に理解を得ていきたい。理念を自分たちのものとしていく為、全ての職員が理念を理解する為に何をすべきか考えながら行動していく。 |
| 3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ホームの基本理念を掲示し、理解を求めるとともにホーム全体でひとつの家族のように雰囲気作りに努力している。運営推進会議には民生委員の協力を得ている。 | ○ | 更にひとつの家族の様に係わり合いを持ち理念の浸透に努めていきたい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 行事等を通して施設の理解を得ていく努力をしている。散歩で通りかかる方たちにも挨拶を心掛けている。裏の公園で毎朝ゲートボールをしている老人クラブの方々に挨拶をしたり話掛けたりしている。 | ○ | 基本理念にもある様に日頃からの挨拶を大切に施設の認識から理解を得ていき行事へのご案内等を行いたい。開放的に近隣の方々参加のお茶会のようなものを開いていきたい。 |
| 5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会にも入り、出来る限り地域での清掃活動等に参加している。行事に必要な備品の貸し出しを自治会にもしてもらっている。 | ○ | 今後も出来る限り地域住民との積極的な交流に参加していきたい。施設裏の「野間北公園」の清掃作業や施設前の歩道等を入居者と職員が共に清掃していく事から徐々に広げていき、地域の清掃作業にも職員だけでなく入居者も参加していくという事につなげていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| 6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 内部研修を行ってから地域の方へ向けた勉強会も企画したり地域の拠点になるような施設を作っていく話を運営推進会議で行っている。 | ○ | 進行はゆっくりでも地域に向けて役立つ施設作りをしていきたい。又、民生委員等からの要望も出ており地域の中の中心となれる様話し合っている。 地域の人の参加していただけるよう認知症ケアサポーターの勉強会等の企画・実施を検討していきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者、管理者は理解できているが、各職員が理解しているか不確かである。各職員には、全体会議等を通して施設が向かう目標を明確に話していく努力をしている。評価後毎には、書面にて各フロアーに周知するよう配布している。出来る限り迅速に改善を心がけている。 | ○ | 今後も全体会議を通して各職員にも理解と改善への努力をするべき話をしていきたい。 |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 活動の報告や今後の予定等を話し現状の理解を求め地域での今後の取り組み方などを話している。家族代表の方からのご意見でスタッフに名札着用を実施し、又、自治会の協力により秋祭りの”だんじり”のコースに施設を取り入れてもらえるなど運営推進会議により利用者の方にも地域の方にも協力してサービスの向上に結びついている。 | ○ | 運営推進会議での地域の方からの声もあり地域の拠点になるべく色々なご意見を頂き今後のサービス向上につなげていきたい。評価後の改善点等についても具体的な意見交換をしていきたい。 |
| 9 ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行事で使用する備品を伊丹市社会福祉協議会で借用する機会がある。市町の担当者、運営推進会議以外での行き来する機会をこれから増やしていきたい、その一歩として市町村、介護保険課への行事報告を上げている。現在防災対策の指針の検討を地域と進めている。 | ○ | 今後地域拠点になるべく市町とも連携を図っていきたい。防災対策についても相談していきたい。 |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 特別学ぶ機会を設けていないが、権利擁護等以外でも医療費の負担軽減等活用できる制度(届出)を主治医からご家族へ説明をし必要な方には活用して頂いている。 | ○ | 研修項目の中に取り入れることが出来る様にしていきたい。 |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 虐待の防止の徹底も含めて、身体拘束にならないようにも注意を行っている。虐待に関する勉強会の実施。 | ○ | 今後も継続して注意を払い、家族との交流を大切に、相談には速やかに対応出来る体制を作り未然に虐待を防げる努力を事業所一丸で行っていきたい。 職員に対しても精神的に負担が大きいため話し合いの場を設けていきたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|-------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 | 契約の際以外でもご質問等には、随時対応している。 | ○ | 随時、ご理解・納得をいただけるように対応を継続していく。 |
| | 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | | | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 | 利用者へ耳を傾け日常の対応時(入浴時や夜間帯の利用者が話をし易い時間)可能な限り対応している。市の相談委員が3ヶ月に1度来所して利用者様の話を聞き報告、相談を他の目線からも情報を得る事が出来ている。又、その報告に基づき改善し運営を行っている。 | ○ | 今後も継続し意見を頂ける環境も大切にしていきしっかり今後の援助に反映していきたい。 |
| | 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | | | |
| 14 | ○家族等への報告 | 随時連絡、報告を行っている。金銭管理については、金銭管理規定をつくり3ヶ月毎に領収書(レシート)、個別出納帳を送付している。利用者の健康状態、暮らしぶり等は定期的ではなく、御家族が来られた時や、用事があって電話をした時など不定期に報告している。 | ○ | 施設全体活動報告等をしていきたい。利用者の暮らしぶり、健康状態も定期的に報告出来る様にしたい。要望があれば職員紹介もホーム通信へ載せていきたい。 |
| | 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | | | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 | 重要事項説明書内にも行政の受付機関の連絡先を記載している。苦情対応用紙にて対応している。1F玄関にも意見箱を設置し設置の事も貼り出している。 | ○ | 今後も継続しより屈託の無いご意見を頂けるように努力していき、現在の対応をも踏まえ家族会の推進についても考えていきたい。 |
| | 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 | 随時間く体制であり、実施したい行事等の意見も聞いている。更に他の各事業所にも良悪点等の意見交換を行っている。 | ○ | 今後も聞く体制は取り続けていきたい。 |
| | 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | | | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 | 管理者としても調整を行っているが、職員間でも協力し各自で相談後、管理者とも”報・連・相”などにより微調整を行い、出来る限りでの勤務の調整を行っている。 | ○ | 必要時は、出来る調整を行ってほしい。 |
| | 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------------|---|
| <p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>退職以外でのスタッフの入れ替わりは必要性が無い限り基本的に行っていない。</p> | <p>○</p> | <p>今後も継続していきたい。 離職に関しては当施設だけに関わらず大きな問題でもあり検討していきたい。</p> |
| <p>5. 人材の育成と支援</p> | | | |
| <p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>運営上必要な研修には、いけているが、その他の研修には、なかなかいけていない、スタッフを出せないのが現状である。内部研修については現在、話し合いを進めている。</p> | <p>○</p> | <p>人員が安定すれば出来る限り内外の研修を充実させていきたい。</p> |
| <p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>実践者研修での外部研修の受入れ実績もあり、今年の夏祭り行事には、他の事業所(居宅介護支援事業所)からもボランティアとして参加をして頂いた。 市内グループホームのケアマネの交流会。</p> | <p>○</p> | <p>出来る限り調整できる交流には、参加できるようにし、サービスの向上に努力していきたい。</p> |
| <p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>単独での休憩室が、ハード的に無くスタッフルームやキッチンが休憩する場所になっておりスタッフには負担があると考えられる。</p> | <p>○</p> | <p>簡単に出来るリラクストストレッチ等の情報があれば提供していきたい。 ストレス発散の外出や交流会の実施や話し合いの場を設けていきたい。</p> |
| <p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>契約の際の話や雇用形態の変化、努力、実績にて評価し、又、資格の習得に応じ、又、向上に向けての目標を探し続けている。</p> | <p>○</p> | <p>今後も継続していきたい。 日々の職員に対しても評価をしていきたい。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 事前面接や入居に至ってからも可能な限り相談になっていく努力をしている。 | ○ | 今後も継続した相談を受けれる体制を継続していきたい。 |
| 24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 施設見学時や申込み、相談や事前面接時、入居に至ってからも可能な限り相談になっていく努力をしている。 | ○ | 随時、可能な限り相談業務を行っているが、更なる理解を求めていく為に話し合いの機会を設けていきたい。可能であれば、ご自宅の部屋の写真をお借りし、入所後も少しでも自宅の雰囲気が出せるような環境作りをしていきたい。 |
| 25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談受け時や申し込み時に現状の把握に努め場合によっては、同敷地内でデイサービスの事業も行っているのでそちらの可能性も必要時提案している。 | ○ | 担当のケアマネージャーや主治医の意見も確認しながら総合的な可能性をしっかりと見極めた支援を行ってきたい。 |
| 26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居までに期間がある場合、本人さんに見学も兼ねてお茶の時間ぐらいに遊びに来ていただける声掛けを行っている。出来る限り本人さんの要望も聞く努力をしている。入居当初も状態落ち着くまでは、注意深く様子観察をしている。 | ○ | 継続して本人さんの状況を見極めながら声を掛けていきたい。馴染んで頂くまでは、家族の理解協力を得ながら自宅への外泊をして頂く。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 ○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている | 可能な方には、生活リハビリとして自室や廊下の掃除機かけや洗濯物を畳んだり等の作業をして頂いている。リビングや各居室でもコミュニケーションを図り笑いがある。家族と一緒に生活しているという感覚、和やかな雰囲気作りを心がけている。その一方で常に職員は目上の方々に敬意を持ちながらかわり、スタッフがわからない事を聞いたりして学ぶ事もある。 | ○ | 更なる可能性を見つけていき利用者、スタッフがともに成長出来る関係を築いていきたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|-------------------------|---|
| 28 | ○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 家族の立場も考えたコミュニケーションを図っていく努力をしている。利用者様の日頃の状態をご家族様に報告する事で話題を共有する努力をしている。 | ○ | 家族だけでなく利用者を囲む共同体の中で支えていく関係を築いていきたい。 面会の少ない家族に対しては少しでも多く面会して頂ける様に働きかけていきたい。 スタッフや家族、更に地域との交流の場も家族会や勉強会を踏まえ考えていきたい。 |
| 29 | ○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 出来る限り利用者、家族双方の立場も考えたコミュニケーションを図っていく努力をしている。 | ○ | 家族だけでなく利用者を囲む共同体の中で支えていく関係を築いていきたい。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人や家族に負担が無い限り外出や面会で対応している。昔からの友人や教え子の方たちも面会に来られている。御家族によっては、帰宅願望がでるので住んでいた土地への訪問はできるだけ避けてほしいと言われることもあるので難しい問題だと思う。 | ○ | 継続的な関係を保てるように施設の雰囲気づくりを出来るよう努力していきたい。 昔行っていたスーパー、市場等へ出掛ける。 帰宅願望が出てホームがしっかり受け止めてくれるという信頼を得る。 馴染みの人の面会の依頼。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 本人の意向を考えた上で孤立の無い様にスタッフが利用者間に入り関わりが持てる様努力をしている。昼食のテーブル準備を利用者同士で手分けして行っている。一緒に外出したり、ドライブをしたり、共同でちぎり絵等の作品を仕上げたりしている。リビングでは、話をし易い席の配慮をしている。認知症の進行具合や身体機能の低下で差が出てきており入居者同士での理解し合えないところもある。 | ○ | 出来る限り利用者本位で生活が出来るよう支援する努力をしていきたい。利用者同士で理解しあえるのは難しい面もあるがスタッフの関わり方で変わってくるのではと考える。 |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退所後も相談があれば受け付けている。退所時にも家族の方へ声掛け等も含めて今後の当施設への関わりは促している。入院先等への面会も行っている。 | ○ | 継続的に相談を受け付けていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | スタッフから本人に意向を聞く努力をし、ケアプランを3ヶ月毎に見直し、本人の希望に沿った援助計画を立てている。ご本人からの要望に対してはその都度スタッフ間で話し合い対応している。 | ○ 職員との信頼関係を深めていき希望や意向のより一層、継続的に把握していきたい。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前面接や入居に至ってからも家族やご本人から可能な限り日常の会話等の中で情報を聞き出す様に努力している。 | ○ 今後も継続していきたい。一対一だけでなく回想法等を取り入れ会話を増やしていく。可能であれば、ご自宅の部屋の写真をお借りし、入所後も少しでも自宅の雰囲気が出せるような環境作りをしていきたい。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 総合的に把握する為、スタッフには、夜勤も含めた勤務に従事する様にもっている。担当スタッフ以外からも情報を得る様に努力している。報告・連絡・相談を徹底するよう年間テーマに掲げている。それぞれの生活パターンをできるだけ理解把握して無理をしない共同生活を送って頂けるように努力している。 | ○ 今後も継続していきたい。 |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 随時利用者の経過から現在の状態をみて話し合いを行い作成している。本人の意見はできるだけ聞くようにしている。数名のスタッフとのカンファレンスを必ず行い介護の方向性を話し合い介護計画の作成をしている。又、現在家族の方を含めたカンファレンスを進めている。 | ○ 継続していき、可能な限り本人、家族を含めてカンファレンスを行っていく。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 随時利用者の状態を見極め話し合いを行い、必要時には、フロア会議時にも見直している。 | ○ 継続していき、可能な限り本人、家族を含めてカンファレンスを行っている。更にこまめなカンファレンス・計画の見直し・作成を行う。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|---|-------------------------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録、診療記録、連絡ノート等でスタッフ間の情報を共有して介護計画の見直し、見直しに心掛けている。 | ○ | 情報共有していき可能な限り本人、家族を含めてカンファレンスを行っていきたい。記録の仕方を見直し必要のない記録を省き本人の会話や細かな動きを記入していきたい。更なる申し送りの徹底と情報の共有化に努める。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 個別外食、通院介助、通院送迎等、御家族様が出来ない場合柔軟な対応をしている。 | ○ | 出来る限り柔軟な対応を臨機応変に継続していきたい。 |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 運営推進会議への参加や、行事へのボランティア要請、消防訓練等で協力して頂いている。 | ○ | 今後も運営推進会議への参加協力やボランティアとのつながりを継続していき消防署との連携も定期的な訓練への参加依頼等で災害時にも備えていきたい。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 毎月訪問散髪を希望者には、利用して頂いており、個別外食等も企画実施している。 | ○ | 今後も継続していきたい。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議等を通して今後の地域とのかかわり方や地域での施設の役割や防災対策、協力依頼等を話し合っている。 | ○ | 今後も継続し、よりよいケアの実現に向けて一層の協働をしていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|--|
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 提携医療機関以外にも個々に必要な医療機関に受診して頂いている。施設を通して提携医療機関での情報、個々での受診機関との情報をやり取りしている。家族会の中で主治医から考え方等の話を家族へ聞いていただき個別にも話をさせていただける事も伝えている。 | ○ 今後も継続していきたい。主治医の考え方だけに片寄ることなく「生活」をベースとした支援を考えていく。 |
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 提携医療機関以外にも個々に必要な医療機関に受診して頂いている。施設を通して提携医療機関での情報、個々での受診機関との情報をやり取りしている。 | ○ 今後も継続していきたい。認知症の専門医からの治療も検討したい。 |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 提携医療機関の看護師より電話等にて必要な情報や助言等をもっている。 | ○ 今後も継続していきたい。24時間の医療連携も検討していきたい。 |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 必要な情報提供を行っている。退院時にも情報をもっているが、医療との関わりが多くなっていくほど、ホームでの生活が難しくなるのが現実である。 | ○ 今後も継続していきたい。入院先の相談員等と気楽に話せるように交流をしていきたい。 |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 施設独自に確認書を作成し出来る限り意向に沿うケアになるよう取り組んでいこうと話を進めている。 | ○ 今後も方針を共有していく努力をしていきたい。家族の理解・協力も必要であり職員の知識の向上も必要である。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 施設独自に確認書を作成し出来る限り意向に沿うケアになるよう取り組んでいこうと書類作成した。 | ○ 施設独自に確認書を作成し出来る限り意向に沿うケアになるよう取り組んでいる。今後も継続してできる限り長期的なケアが出来るようにしていきたい。退所となっても他病院へ移ってから後悔することのない終末期の受入も24時間の医療連携と共に検討していきたい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|--|
| 49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 施設独自に確認書を作成し出来る限り意向に沿うケアになるよう取り組んでる。 | ○ | 施設独自に確認書を作成し出来る限り意向に沿うケアになるよう取り組んでいる。今後も継続してできる限り長期的なケアが出来るようにしていきたい。退所となっても他病院へ移ってから後悔することのない終末期の受入も24時間の医療連携と共に検討していきたい。居宅のケアマネからの情報の受け入れや家族との密な連絡。受け入れ先への細かな連絡をしていく。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 記録等は、スタッフルーム内にて管理しており言葉掛けや対応はスタッフ同士注意する様努めているが、馴染みの関係が築けていく反面言葉使いが乱れる事もある。 | ○ | 今後も継続していきたい。 |
| 51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 外出や散歩等選択出来る声掛けをする場面を設けている。 | ○ | 日々、更なる可能性を見つけるよう努めその人らしい生活が送れる援助を継続していきたい。 |
| 52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 勤務時間と言う制約はあるが、出来る限り一人一人の生活のリズムを大切に頂くと共に規則正しく過ごして頂く様に努力しているが、長年生活を続ける中で認知症の進行や身体機能の低下により介護する量が増える事で介護者優先の関わり方になってしまいがちである。 | ○ | 今後も規則正しく本人の希望に沿った日々の生活が送れるように支援していきたい。職員のレベルアップにより可能な限り希望に添えるよう努力する。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 洋服選びや女性であればお化粧をされる方は、ご自分でされておられる。月に1回訪問理容師がきて希望者のみ散髪を施行している。 | ○ | 今後も本人の有する限り自分の意志で身だしなみやおしゃれを楽しんで頂く支援をしていきたい。また、馴染みの散髪屋に行ける様に図ったり、女性であれば化粧品を一緒に買いに行ったり「おしゃれ会」の開催も考えたい。外出する機会を多くもって頂ければ身だしなみを気に掛け日常生活にメリハリが出来る。月に一度位は「よそ行きの格好」で外出する機会を持っていただく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--|---|
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 嗜好やアレルギーを把握している。食事の準備も出来る方が率先して行われている。食事は、スタッフも一緒に摂っている。行事等でバイキング形式をとったりおやつ作りをしたり屋台形式で提供する時もある。外食の援助をする場合もある。献立作成からの食事づくりの回数を増やし好みの献立を立てられている。 | ○ 今後も継続していく。料理番組や料理本と一緒に楽しみ食べたいものを探し職員もつくるバリエーションを増やしていく。 |
| 55 | ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 嗜好品も利用者の心身の状況にあわせて提供していく努力をしている。二日に一回の夕食時飲酒をされている利用者様がいる。糖尿病の利用者様がいるのでおやつはなかなか希望されているような物が提供できないのが現状です。嚥下に問題がある利用者様にはそれ様のおやつを用意し、好み嗜好を出来るだけ聞けるように努力している。甘いものが好きな方が多く善哉等手作りおやつを作っている。 | ○ 今後も出来る限り継続していきたい。健康に支障のない限り好きな物を楽しんでいただきたい。 |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 可能な限りオムツは使用せず、トイレ誘導にての対応を心掛けています。夜間失禁が多い利用者様を熟睡中起こしてトイレ誘導した方がいいのか、そのまま朝までゆっくり寝ていただいて、多量の失禁を処理した方がいいのか迷うことがあります。又失敗の原因をスタッフ間の情報を共有する事により減少に努めている。 | ○ 今後も本人の持った機能を低下させない様に支援していきたい。排泄パターンの把握。おむつの使用を減らす＝気持ちの良い排泄に繋がるとは思えない、失敗する事への不安感を解消の為に自らおむつを希望される方もいるので、リハビリパンツ等本人の希望にも応じてうまく使用していただければと思う。 |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴のパターンがある程度決まっており、その中で声掛けしながら調整している。往診等が多い施設なので、その時間に合わせて入浴を急いで頂く事がある。見守りで入浴可能な方には夜の入浴や決まった日以外での入浴もして頂いている。気の向かない日は、次の日に入浴していただく希望時間を聞き入浴して頂いている。 | ○ 今後も継続しながら本人に希望日や時間を聞き毎回応じる事は難しいが「自分のペースでゆったりと気持ちよかった」と思っていただけよう柔軟に対応できるようにしていきたい。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 規則正しい生活を基本とし、レクリエーションや散歩等は強制せず、居室で休みたいと言われる利用者様にはゆっくり休んで頂いている。心身の状況により柔軟に昼寝(臥床)の時間を設けたりしている。 | ○ 今後も個々の心身の状況により柔軟に対応していきたい。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 作品作りを支援したり、一人一人にあった作業等を提供する努力をしている。歌を歌ったり、カードゲームをしたりと時間の許す限り気晴らしのための支援努力はしている。今までやっていなかった家事等でも出来る事を見つけて頂いている。 | ○ 今後も継続していき、ベランダの活用や1Fでの園芸療法を検討していく。本人の力を見つけていく。 |


| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|-------------------------|---|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 金銭管理規定の基、施設にておこずかいを管理しているが、管理可能な方や精神的落ち着きの為に所持して頂いている。買い物に出かけた時も支払いを本人にして頂く事もある。 | ○ | 今後も継続していきたい。金額は限られるが出かける時から本人に財布を持っていただく。日頃からの金銭の所持は、個人差もあるが物忘れ、物盗られ妄想がある為難しいと思われる。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 希望のある方やこちらからの声掛けで散歩、買い物、外出、外気浴を出来る限り行っている。時間を見つけて外出するようにし、本人の希望が通る様最大限努力はしている。 | ○ | 今後も出来る限り継続していく努力していきたい。出来ない決め付けず外へ出掛ける日や時間を増やしていく。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している | 家族の支援で定期的に外部での集まりに参加されたり、自宅へ帰られる方も居られる。本人の意向等も考慮し家族等とも相談しながら外出支援を行っている。 | ○ | 可能であれば旅行の企画も考えてみたい。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 葉書き、手紙を書かれる方と郵便ポストまで散歩がてら一緒に出掛けたりしている。頼まれた時は投函してる。電話番号を忘れておられる場合がほとんどではあるが、施設で情報を知り得ている場所へは希望があれば御家族様了解のもと、出来る限り意向に沿うように番号を自分で押してもらったりもしながら電話している。 | ○ | 今後も継続していきたい。年賀状や暑中見舞いなど本人に書いていただき車椅子の方でも郵便局まで一緒にいって投函したりもしていきたい。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時、居室や利用者の自室等でお茶を飲みながら自由に過ごされている。何時来て頂いても気持ちよく受け入れている。 | ○ | 更に地域の方が気軽に訪れて頂けるようにしていきたい。和室も活用していきたい(2F) |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 自立支援に向けてサービス利用者個々の行動を制限する様な拘束は行っていない。事故防止の為に行動をより早くスタッフが気付ける工夫は見守り以外にも個々の状態に合わせて日々相談しながら行っている。 | ○ | 継続していきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------------|---|
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 帰宅願望が強い利用者様がいるため、常に開放している訳ではないが、出来る限り玄関の鍵をかけない様に心掛けている。 | ○ | 利用者のその日や時間帯等安全を考慮しながらケアの実践を継続していきたい。 |
| 67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に目配り気配りを行う努力をしている。夜間帯は、特に目配り気配りしやすい場所にて記録等行い、夜間二時間置きの巡回を実施している。体調の悪い利用者様がいた場合等は、その限りではなく頻繁に巡回している。引継ぎ(申し送り)もフロアで行っている。 | ○ | 今後も継続していきたい。 |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 基本的には、自室は自由に私物を持ち込んで頂いている。個々に生活しやすいレイアウトも考え支援している。 | ○ | 今後もその人らしい生活が送れる環境作りの支援をしていきたい。 |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 個々にあわせたケアを検討実施しひやりはっとも含め内容を回覧しケアの見直し等を行い出来る限り再発防止に努めている。行方不明になった場合にそなえて、写真入りの情報表を準備している。 | ○ | 今後も個々にだけでなく大きな視野で再発防止等に取り組んでいきたい。勉強会や職員の知識、技術等の向上も目指す。 |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 定期的な消防訓練を行っている。日中、夜間共に緊急時のマニュアルを作成している。消防署へ依頼し心配蘇生法の講習を受けた事もあり。 | ○ | 消防署へも依頼し心配蘇生法の講習を定期的に受けていきたい。 |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防訓練の実施や現在、防災対策の準備を市にも相談し進めている。 | ○ | 施設での防災指針を作り上げ地域の中でも協力できる事をしていきたい。また、利用者と共に避難場所までいったりする事もしていきたい。地域の方々とも一緒にまじえて訓練を行いたい。 |

| | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|-------------------------|---|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 随時説明し理解をして頂いている。家族同席のカンファレンスを持ち、同意書を作成している。 | ○ | 更に具体的なリスク等をカンファレンスやこまめな家族との情報交換で話し合っていきたい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 日々の申し送り等から必要時は、随時主治医にも状態報告し指示等も受けながら対応している。毎朝、定時バイタルを測定し体調管理に努めている。 | ○ | 今後も継続していくと共にスタッフの知識向上をしていきたい。 |
| 74 | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬状況の表を一括化し把握に努めている。随時変更もしている。服薬は職員が十分管理し、薬のセットは3回チェックをする。医師の指示のもと、本人管理の薬もあるが、毎日の服薬数についてはしっかり管理して一日分をお渡ししている。複数の病院を受診されている方も居られ殆ど家族の方に付き添いをして頂いているので日々の状態をしっかりと通院時に伝えDrと薬の調整をして頂いている。 | ○ | 今後も継続していく。薬や病気についての知識・理解を深める。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎朝身体を動かす時間を提供し、個々にも希望に沿った果物や野菜ジュース等を提供している。精神的な部分にもコミュニケーションを取りながら安定に取り組んでいる。水分摂取量の把握。ラジオ体操のイヤな方にも対応しストレッチや空手の動きを取り入れている。 | ○ | 今後も継続していく。腸のぜん動運動運動・マッサージへの取り組み。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 援助が必要な方には、毎晩義歯をお預かりし義歯洗浄を行い歯磨き援助も行い口腔内の清潔保持に努めている。嚥下外来への受診を勧める方もおられる。 | ○ | 今後も清潔保持に努めていきたい。毎食後声を掛けたり介助していきたい。 |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量を毎日把握し、水分に関しては、制限のある方や摂取量が少ない方も居られるので量もチェックしている。水分摂取量の足りない方へは、本人の嗜好に合わせた飲料物を取り入れている。 | ○ | 今後も継続していきたい。水分チェック表を作成することで職員が水分補給の重要性を理解できている。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|-------------------------|---|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染対策マニュアルを作成し手洗い、消毒等をし、日々感染予防に努めている。地域での感染症の流行状態も提携医療機関からの情報もある。毎年インフルエンザの予防接種も家族にもご理解頂き施行している。 | ○ | 今後も継続していきたい。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 日々手指の手洗い、消毒を行い特にキッチン内では、手指消毒を徹底している。毎晩、まな板等を漂白消毒をしている。賞味、消費期限をこまめにチェックして、傷んでいる野菜等は処分する。 | ○ | 今後も継続していきたい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りには、木々を植え、手作りの置物を飾る等し、雰囲気づくりを心掛けている。利用者とスタッフの共同での作品を置きバザー形式での販売もしている。 | ○ | 今後も継続していく。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 生活感が、感じ取れる環境作りになるよう努めている。リビングでは熱帯魚を育てて、利用者様に楽しんでいただいている。 | ○ | 今後も心地よい生活を送れる環境作りに努めていきたい。TVを消して過ごす時間を増やしていきたい。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングでの食卓が基本となるが、他にソファを設置したりしている。仲の良い利用者様同士が座れるような座席配置にしている。 | ○ | 今後も共有スペースの中にもゆっくりと過ごせるスペース確保の工夫をしていきたい。和室の活用。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------------|---|
| <p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>個室のレイアウトや私物の持ち込みは、基本的には自由である。私物を沢山持ち込んでいる利用者様や、私物を持ち込むと「捨てられた感」が生じる利用者様は必要最低限の物品になっている。必要なものは御家族様と話し合い、購入して頂いている。</p> | ○ | <p>今後も心地よい生活を送って頂くよう努めていきたい。</p> |
| <p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | <p>温度調整は、随時行い、におい等は、換気で補えない部分には、空気清浄機も活用している。換気扇をこまめにまわし、冬場は加湿器をリビングに置いている。ご自分で好きな温度に変更している方もおられるのでその際にはスタッフがチェックしている。</p> | ○ | <p>今後も換気、空調に注意をし対応していきたい。臭いには慣れてしまう為、もっと入ってきた際には鼻を活かし鼻を利かせてゆく。</p> |
| <p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p> | | | |
| <p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>移動の動線上に危険と思われるものは設置しないように努めている。バリアフリーになっている。脱衣場入口に暖簾を掛けたり、扉に入浴中の札を掛けたりもしている。</p> | ○ | <p>生活観が損なわれないようにシフロア全体に危険のないよう配慮していきたい。</p> |
| <p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | <p>居室には、よくわかるように大きな字で名前を貼り出したりしている。トイレにも貼り出している。トイレへの道順も貼り出しご自分でいけている。全ての職員が「わかる力」を把握する事が先ず出来ていない(職員個々によって見方が違う)</p> | ○ | <p>職員全員が情報を共有しケアを統一していきたい。</p> |
| <p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p> | <p>下肢筋力の低下により、ベランダにでる段差に対応できない入居者の方もおられるが、ベランダにてプランターで植物を植えたりしている。安全性を考えると規制しなければいけない方も居られる。</p> | ○ | <p>今後も消防上問題のないようにベランダ等をもっと活用していきたい。窓も場所や時間も限られるかもしれないが開放していきたい。</p> |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | *入居者18名 |
|------------------|--|---|
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください) |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・地域に根付いた施設運営をしていくべくウェルフェア伊丹デイサービスセンターと協力し、地域に開けた行事の計画や実施を心掛けていく努力を行っている。
 ・入居者のペースを尊重し規則正しい生活の中で柔軟な対応をする努力を行っている。